

# ゆうゆう通信

令和4年6月10日発行 第42号

発行 飯田市立病院介護老人保健施設  
ゆうゆう 広報委員会  
〒395-8503 飯田市上郷黒田341  
電話 53-6048 FAX 53-6047



金子 源吾

令和4年度の仕事始めに当たり  
ゆうゆう施設長・高松診療所長

「ゆうゆう」のご利用者様・ご家族様ならびに関係各位には日頃格別なるご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

さて、最近の報道によりますと、この2月にはロシアのウクライナ侵攻により大規模な戦争状態になり、世界情勢はにわかにならなくなってきています。一方、新型コロナウイルス感染症も国内外の多くの地域で未だ感染収束の兆しが見えず、まだまだ予断を許さない状況が続いています。

当圏域でも、現在も多数の陽性者が発生し、いつ当施設にクラスターが起きてもおかしくない状況です。引き続き、クラスターの発生にも迅速、的確に対応できる準備をしておくと同時に、手洗いの励行、3密（密閉、密集、密接）を避けて、必要な場面ではマスクの着用など、感染予防を心がけていきたいと思えます。そのため、ご利用者様・ご家族様には面会制限などご不便をおかけしますがご協力をお願いいたします。なお、ゆうゆうでは6月から4回目のワクチンを実施する予定になっています。

全国的には感染防止対策を行いながら、中断していた様々な社会活動を再開していく方向にあります。ゆうゆうでも今後の感染状況を考慮して、安全な制限の緩和をしていきたいと考えています。

今年度も「ゆうゆう」は信頼される介護サービスを提供していきますので、ご理解とご支援を宜しくお願い申し上げます。



棚田 昭彦

事故なく元気に笑顔で過ごすために  
ゆうゆう事務長

高齢者の事故のニュースが多く聞かれますが、どんな事故が多いか知っていますか？実は、高齢者の死亡事故を見ると、交通事故や自然災害以外の「不慮の事故」で亡くなる方が圧倒的に多いのです。「不慮の事故」とは、「ころぶ」「つまる」「おぼれる」の3つが大半を占めています。また多くは家庭内で起きています。

「ころぶ」は居室で床に置いていた物や敷居につまずいてころんだり、敷物や電気コードに足が引っかかって転ぶ事故が起きており、太もも付け根等の骨折、頭部・顔面の強打などです。これをきつかけに、恐れて家に閉じこもりがちになり活動が低下し、死亡に繋がったり、もともと抱えていた疾病が悪化し、新たな合併症が生まれるなどで死亡に繋がるそうです。「つまる」は、餅、おかゆ類、ご飯など日常の食事で事故が発生しています。「おぼれる」は、ほとんどが浴槽で事故が発生しています。寒い時期にヒートショックやのぼせにより意識を失ったり、めまいを起したことによる事故が発生しています。高齢者の家庭内事故の根本的な要因は「加齢による変化」で、加齢による変化に応じて生活習慣・生活環境を見直していないと事故につながります。

「ゆうゆう」では、専門のスタッフが、要支援・要介護の方に、加齢による生活習慣の変化に合わせて、運動や認知症治療など、皆さまの気持ちに寄り添い、専門知識とこれまでの経験で、生活習慣を改善し笑顔と自身を取り戻していただくためのお手伝いをさせていただきます。ご自宅での生活に不安や心配がある場合はお気軽にご相談ください。これからも必要なサービスをご提供し、地域に頼りにされる施設を目指してまいります。

# 1F お花見

今年度のデイケアのお花見ドライブは4月4日(月)〜4月8日(金)で出かけました。

連日天候に恵まれ、満開の桜を堪能しました。車窓からの見学ではありませんでしたが、黄梅院↓専勝寺↓桜並木↓美術博物館↓旧地場産業センターと桜の花を追いかけてのドライブは、頬を伝う風も心地よく、春の訪れを実感していただく良い機会になりました。

車酔いが心配な方はお隣の正命寺まで歩いて見学に出かけました。古木に咲く枝垂桜が見頃となっており、なんとという事でしょう、飯田ケーブルテレビの取材が来ていました。「インタビュースタッフが来た、夕方の番組に出るって」と嬉しそうに報告をしてくださった利用者様もおられました。



# 2F お花見

3月終わり頃から、ゆうゆうのすぐ近くにある正命寺の枝垂桜が咲き始めていました。遠くからでも、段々と開花してくるのが分かるくらいきれいなピンク色が見えていました。一年に一度の事なので、全員に見てもらいたいと思い、開花の状況と空(天気)をにらめっこしながらチャンス伺っていました。まだ暖かとは言えず、風も強い日が続きましたが、零れ落ちてくるような満開の桜を見上げる利用者様の顔が、とても穏やかで、「いいものを見せてもらった」「桜はいいなあ」と口々に話してくれました。癒されたひとときでした。



# 3F お花見

コロナ禍で外出もままならないこの時期、2分で行ける桜見へ、正命寺の枝垂れ桜は目の前に桜の花があり、触れたいくなるほど多数の枝に花が咲誇り圧巻されます。又、後方にある緑の松とピンク色の桜のバランスよく、心が和ませてくれます。利用者様からは「ああ、すごく綺麗」の声が多数利用者様から聞かれました。みなさんご存じですか？正命寺の北側に「おまん様」の祠があります。お願いすると願いが叶うという言い伝えがあります。お花見と一緒に参りできると良いかと思いません。





# 憩いの場ができました

風薫るさわやかな季節となりました。木々の緑も鮮やかになり、柔らかな日差しが大地を暖め草花や生き物が一斉に目を覚まします。そんな情景を思い浮かべると、ふと外へ足を向けたくなります。利用者様におかれましては、施設生活やコロナ禍も相まって気分転換に外へ出るといふ機会が少ないかと思われまます。身近に季節を感じ、自然の香りや色、音に癒される時間を持つことができればと思います、2階のバルコニーへメダカの池を設置しました。池の周りを植木鉢や鉢花で囲い、いつでも季節を感じられます。池の水面にはかわいらしく泳ぐメダカが見え、耳を澄ませば水の流れ落ちる音が聞こえます。肌や目、耳から心を癒せられる空間ができました。皆様もぜひ気分転換に、癒しの空間へ足を運んでみて下さい。



# 春だ！クレープ祭り

ポスターの予告から「クレープって何？」「知ってるよ〜クリームが挟んであるんですよ」と楽しみにしていました。生地を焼く甘い匂いからワクワクの利用者様達でした。バナナ・イチゴ・チョコレートクリームチョコスプレー・生クリームを自分で自由にトッピングして自分だけのオリジナルのクレープを作りました。出来立てのクレープは美味しいに決まっています!!。初めて食べる方が多かったです。が「美味しい」「甘い」「柔らかい」「また食べたい」等の感想があり、口にクリームをつけながら良い笑顔で頬張りました。



## 新しい温冷配膳車が入りました

美味しいご飯を

運びます♪

四月から新しい温冷配膳車が2台入りました。最新型のピンクの可愛らしい配膳車です。

調理員さんも、従来の配膳車に比べ、音も静がであり扱いがスムーズで使い勝手の良さで安心しております。今回、2台の配膳車の導入により、3階の食事配膳がよりスムーズとなり、利用者様にも喜んでいただいております。これからも安心安全のお食事が利用者様に届くよう努力してまいります。



## 介護ロボット「ハグ」を導入しました

最近介護ロボットが話題になっていますがゆうゆうでも「HUG(ハグ)」を各階に導入しました。ハグはベッドから車椅子、車椅子からトイレといった座位間の移乗動作などをサポートするロボットです。

特徴として、①一人で立ち上がることが難しい方用の移乗動作をロボットがサポートします。②抱え上げ動作をサポートするので、介助者の身体負担が軽減され腰痛予防につながります。③上半身をスライドしながら立ち上りますので、重心を足の裏に乗せて気持ちよく立ち上がることができます。残っている脚力を最大限に活かすことが可能です。

④スリングシートをいけませんので、面倒なセッティングは不要で、使いたいときに手間取ることなく使うことができます。

安全にそしてお利用者様の機能を最大限に生かせるよう、積極的に介護ロボットを活用していきたいと思えます。



HUG



## 新任職員紹介

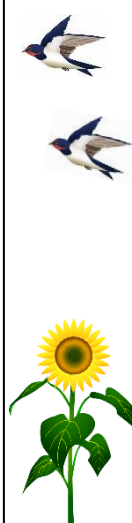


リハビリ係  
作業療法士

原 実咲

この4月よりゆうゆうで働くことになりました、作業療法士の原 実咲と申します。

楽しいリハビリを提供し、ご自宅でもいきいきと生活できるようにご支援していきたいと思えます。どうぞ、よろしくお願いいたします。



## 編集後記

気が付けば早いもので、コロナ禍になって3年目です。その中で一番影響を受けているのは子供達ではないでしょうか。修学旅行・部活など、

まだまだ制限がかかって思うように動けないのが実情です。コロナが終息を迎えた時、子供たちが修学旅行で行けなかった東京へ家族で出かけるプランを密かに練っています。希望は必ず叶うと信じて！（柴）